



▼定められた喫煙場所では、
こを吸う（加熱式たばこも
同様）
▼子どもや患者に対しては、
たばこの煙を吸わせないよ
うに配慮する

喫煙者の皆さんへ
ルールを守り、
受動喫煙を防ぎましょう

受動喫煙対策は、従来の「マ
ナー」から「ルール」に代わ
ります。喫煙者には、法律で
周囲への「配慮義務」が課せ
られます。一人一人がルール
を守り、受動喫煙を防ぎま
しょう。

【禁煙外来を行っている町内医療機関】

医療機関名	電話番号
矢吹医院	(62) 2169
小川医院	(62) 2132
かねこ内科外科 クリニック	(72) 0660
町立猪苗代病院	(62) 2350

「たばこをやめたくてもや
められない」。それはニコチ
ン依存症という病気です。禁
煙できないのは意思が弱いか
らではありません。大切な
は「たばこをやめたい」とい
う気持ちです。禁煙外来では、
禁煙補助薬などを使って禁煙
治療を行っており、ニコチン
依存症と診断されると健康保
険が適用されます。

あなたの禁煙をサポート

たばこの葉を燃えない温度
で蒸し焼きにする加熱式たば
この喫煙者が急増しています。
加熱式たばこにもニコチンや
発がん性物質が含まれており、
健康被害へのリスクを高める
可能性は否定できず、たばこ
の安全な代替品とはならない
ことが指摘されています。

加熱式たばこにも注意！

なくそう！望まない受動喫煙 受動喫煙防止の新ルール

令和元年7月から病院や学校、行政機関で
敷地内禁煙のルールがスタートしました。
令和2年4月からは、飲食店やオフィス、事業所などでも
原則屋内禁煙となります。

望まない受動喫煙を 防止する取り組みが強化

たばこの煙には多くの化学
物質が含まれ、このうち人体
に悪影響を及ぼす発がん性物
質が70種類以上あるといわれ
ています。

自分の意思に関わらず、他
人の喫煙によりたばこから発
生した煙にさらされることを
受動喫煙といいます。受動喫
煙によって、たばこを吸わな
い人もたばこに含まれる有害
物質の影響を受け、肺がんや
脳卒中、乳幼児突然死症候群
などの病気のリスクが高まり
ます。日本でも受動喫煙が原
因で年間に約1万5千人がこ
れらの疾患で亡くなっている
と推計されています。

受動喫煙を防止する取り組
みを強化するため平成30年に
健康増進法が改正され、令和
元年7月から一部が施行され



ました。また、改正健康増進
法が令和2年4月1日から全
面施行となり、飲食店をはじ
めとした多くの施設が原則屋
内禁煙となります。

たばこに関するルールが変わります

喫煙を目的とするバー・
スナック、公衆喫煙所など

令和2年4月から
「施設内で喫煙可能」

○受動喫煙防止の構造設備基準
に適合した室内空間に限り、
喫煙目的室を設けることがで
きます。喫煙目的室では、喫
煙に加え、飲食を始めとする
サービス等を提供することを
可能としています。

飲食店・オフィス
事務所・工場など

令和2年4月から
「原則屋内禁煙」

○喫煙専用室の設置が可能です
が、標識掲示が必要です。
○既存の飲食店は経過措置があ
りますが、店内喫煙可とする
ためには保健所への届け出が
必要です。

病院・学校・行政
機関の庁舎など

令和元年7月から
「敷地内禁煙」



※全ての施設で喫煙可能部分には利用者、従業員ともに20歳未満の人は立ち入り禁止です。

違反した場合、施設管理者には最高
で50万円の罰則（過料）が適用されるこ
ともありますので、法律が全面施行され
るまでに適切な対処をお願いいたします。
詳しくは、厚生労働省のホームページ
をご確認ください。



【問い合わせ先】
保健福祉課 健康づくり係
☎(62) 2115

「空気のきれいな施設」募集中です！

たばこの煙は本人のみでなく、周囲の人の健康にも有害なため、
受動喫煙防止対策が進められています。

県では、禁煙に取り組んでいる施設を認証し、ホームページで
公表しています。

町内では、町役場や飲食店など、1月末現在で合計17件が認
証されています。県民の皆さんが安心して過ごせる場所を増やす
ため、皆さんからの申請をお待ちしています。

- 対象施設 人の集まる県内のあらゆる種類の施設
- 認証要件 屋内が終日禁煙で、禁煙であることを表示している
こと
施設や店舗のある階の共有スペースに灰皿を置いて
いないこと
- 申請方法 認定申請書に必要事項を記入の上、会津保健福祉事
務所に直接申請してください。詳細は、県のホーム
ページをご覧ください。
- 問い合わせ先 会津保健福祉事務所 健康増進課
☎(29) 5519



県ホームページQRコード